



いち ばん とお たび
一番遠くまで旅をする
トンボ はどれ？



1

シオカラトンボ



2

アキアカネ



3

ギンヤンマ



かぜ の み
風に乗ってひろがる実や
タネをもつ 植物 はどれ？



1

ムラサキシキブ



2

カタバミ



3

ケヤキ



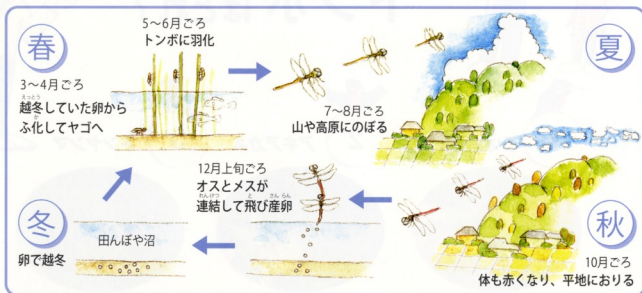
2 アキアカネ



こたえ 9



アキアカネは、卵で冬をすごし、春になると平地や池や沼、田んぼなどでヤゴになり、やがてトンボになります。活動中の体温が気温より 10～15℃も高まってしまうため、暑さが苦手なトンボです。夏になると日中の気温が 20～25℃のすずしい山や高原に移動してすごします。多くのトンボが羽化後、水辺をはなれますが、長距離は移動しません。秋にはすずしくなった平地へおりてきて交尾をし、水辺に卵をうんで一生をおえるのです。



3 ケヤキ



こたえ 10



世田谷区の樹にえらばれているケヤキは、大きくなると 15m 以上のとてもりっぱな木になります。春に咲くとても小さくて目立たない花は、葉っぱの根元で小さな実になります。その実を少しでも遠くへ運んで子孫をふやすために、ケヤキは高い木の上から葉っぱのついた枝ごと落として風にくるくる舞いながら、ゆっくり地面に落ちていくのです。ケヤキのちかくでぜひ見つけてみましょう。

植物は種子を遠くへ運ぶためにいろいろなくふうをしています。



ムラサキシキブは
鳥にたべられて運ばれる



カタバミは風や手でゆらすと
タネがはじける



ケヤキは葉のついた
枝ごと風に乗って運ばれる